

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
柏市	柏市	平成31年度～令和5年度	平成31年度～令和5年度

1 目標の達成状況

(ごみ処理)

指 標		現 状 (平成29年度)	目 標 (令和6年度) A	実 績 (令和6年度) B	実績 /目標
排出量	事業系 1 事業所当たりの排出量	3. 35t/事業者	3. 14t/事業者 (-6. 3%)	3. 36t (0. 3%)	-4. 8%
最終処分量	埋立最終処分量	11, 360t (9. 7%)	10, 129t (8. 8%)	10, 250t (9. 1%)	65. 7%

※目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

(1) 1 事業所当たりの排出量 事業系総排出量については、平成29年度の現状が36, 170t、令和6年度の目標が36, 970tであるのに対し、令和6年度の実績は35, 366tであり、実績は現状も目標も数値を達成することができた。 事業系総排出量が減少しているにもかかわらず、1 事業所当たりの排出量が増加してしまったのは、2つの原因が考えられる。1つは不景気や新型コロナウイルスなどの理由により事業者数が微減したことであり、もう1つは地域計画を策定したときに事業者数が増加すると想定したことである。
(2) 最終処分量 埋立最終処分量については、令和6年度の目標が10, 129tであるのに対し、令和6年度の実績は10, 250tであり、目標を達成することはできなかった。しかし、平成29年度の現状の11, 360tよりは数値は減少している。また、平成29年度から令和6年度までの搬入実績は基本的に減少傾向

向であり、令和4年度の実績は10,129t、令和5年度の実績は10,091tと目標に到達していた年度もあった。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和8年度まで

(1) 1事業所当たりの排出量

事業系総排出量を減少するために、次の2つの施策を実施する。

1つめは3R+Rのさらなる推進を行う。市内の事業者が提出する減量計画書から優良事例を抽出し、啓発チラシやメール配信により水平展開を進め、多量排出事業者におけるごみ減量の推進をする。また、飲食店から生じる食品ロス削減のため、賞味期限間近な食品のマッチングアプリサービス提供事業者との連携を検討し、民間事業者との連携による減量化をする。

2つめはごみに関わる多様な主体の連携・協力を行う。多量排出事業者の優良事例を抽出し、中小規模の事業者に対して業種・規模に応じた事業系ごみ減量化に向けた効果的な情報発信をする。また、事業所と市が連携し、プラスチック、紙、食品ロスを中心とした取組の実施を検討するため3R推進事業所・3R推進店推奨制度の拡充をする。さらに、3R推進店や多量排出事業者の優良事例を収集し、業種や規模等を踏まえたチラシ配布などによる情報発信を行い、事業系古紙類のリサイクル推進を行う。

(2) 最終処分量

最終処分をせざるを得ない廃棄物の減量に努め、改善を実施する。

(都道府県の所見)

目標を達成できなかった1事業所当たりの排出量、総資源化量及び最終処分量について、【3 目標達成に向けた方策】を適切に実行し、次期地域計画における目標の達成に努められたい。

(技管協の所見)

特になし